

令和6年度かりや夢ファンド補助金 審査結果

まちづくり活動支援事業補助金（申請額5万円以下）

No.	団体名	事業名	事業目的	事業概要	得点	採択結果
1	サブロー・ガルテン	俳優松原実智子さんの朗読を聞く会	子供や市民の方に向けての朗読会を行なう際、よりお話を理解し、感動を伝えることができるよう、模範的な朗読を聞いて、レベルアップを図る。お話しボランティア仲間にも呼びかけ、互いの向上を目指す。	令和7年3月、サブロー・ガルテンが総合文化センターで、会員と読み聞かせボランティア有志を対象に、講師を招いて朗読会を開く。絵本で、民話「十五の森」ほかの朗読を聞き、人に感動を伝える朗読について話し合う。後の研鑽のため、録音、録画などの記録を採る。	19.38	採択
2	亀城わっしょいプロジェクト	コネクドームでハーブの育成を通じた人々の交流	現在コネクドーム西側は、砂利が露出し見た目も良くないため、花壇やコンポストなどを設置し、植物育成を通して人と人の交流のきっかけを作りたい。また、自然と触れ合うことで公園の新たな価値を見出したい。 ※コネクドーム…亀城公園に設置されている、厨房客室を備えたチャレンジBOX。	地元でブレンドハーブを取り扱うShiroとともに、コネクドーム西側の使い切れていないスペースをハーブガーデンとして活用する。苗を育て自然を育む場所ができれば、気軽に立寄りハーブを愛でる時間が生まれ、人々の交流が生まれる。ハーブガーデンは、育てるだけでなく、食べられたり、匂いをかいだり、触ったり、飲めたり、五感を通して活用できる。見るだけでなく、感じる、食べられる庭としての活用をしていく。ワークショップでは、パーマカルチャーガーデン（持続可能な農業）やハーブの生態や効能について学ぶ。パーマカルチャーガーデンのスタートができるようなワークショップを数回開催する。	17.75	採択
3	Liaison（リエゾン）	保護犬・保護猫チャリティーマルシェ プ・ア・プ	暗く悲しいイメージが強い保護犬、保護猫の問題だが、このマルシェに賛同しご協力いただける保護団体や出展者とともに、マルシェを通じて、人と動物が幸せに暮らしていける提案を楽しく前向きに伝えていきたい。	2025年3月、セントラルパーク（大手公園）にて当チーム主催のチャリティーマルシェを開催予定。各団体の売り上げは団体の活動費、そして多くの出展者の売り上げの一部は、自身が応援している団体への寄付や物資支援に充てられる。当チームの売り上げは、会場費等の必要経費を引いた金額を各団体に寄付させていただく。マルシェでは、犬連れの方が多く来場することを想定し、来場者にはペット用の消臭袋を配布、犬のトイレスポットを設置するなど、環境にも配慮していく。	18.63	採択
4	西三河レインボーフラッグス	西三河レインボープライド	名古屋レインボープライド、東京レインボープライドを参考に、刈谷市を中心とした西三河で生きづらさを抱えている性的少数者などの生きづらさの改善を図る。	令和7年3月（予定）に当会主催で、刈谷市総合文化センターにて当会の対象とする方（対象者・当事者）、またはその支援者に向けて、パネル展示、動画上映により啓蒙したり、相談ブースを設け、対象の方の悩みの声を受け止めたり、ゲストを招いて講演をして頂いたりして、刈谷市内外の市民にアピールすることにより、西三河及びその近辺で支援が必要な方がいることをお知らせするとともに、当事者が少しでも生きやすくなる。	18.25	採択